

明智荘に“駒”がきた!

9月18日、大河ドラマ「麒麟がくる」で駒役を演じる門脇麦さんが、明智荘(現在の可児市北東部から御嵩町西部の一带)にある大河ドラマ館、明智城跡、天龍寺を訪れました。

また、花フェスタ記念公園内にある秀吉や家康に仕えた茶人・古田織部にちなんだ茶室「織部庵」にも立ち寄り、人間国宝で可児市名誉市民の陶芸家、加藤孝造さんの「瀬戸黒」「志野」の茶碗を手に取り鑑賞しました。



- ①明智城跡大手門前
- ②明智城本丸跡の展望台
- ③明智光秀公ブロンズ像前
- ④織部庵(花フェスタ記念公園内)
- ⑤「駒」衣装コーナー(大河ドラマ館内)
- ⑥門脇麦さんの直筆サイン入りパネル(大河ドラマ館内)



真剣な眼差しで左官作業をする篠原さん

職人の仕事を体験

10月28日、ものづくりやITの魅力を伝え、その仕事に興味を持ってもらおうと「目指せマイスタープロジェクト」が東明小学校で行われました。児童は、IT・建築大工・左官・和装・フラワー装飾・広告美術の6コースに分かれ、職人に指導を受けながら職業体験をしました。

DIY*をしたことがきっかけで興味を持ち、左官体験を選択した6年生の篠原白夏さんは「コテの角度で土の付き方が変わるので思ったより難しかった。職人さんは早くてすごい」と話してくれました。

*DIY...Do It Yourselfの略語。自分で何かを作ったり、直したりすること。

地域を見守り40年

内閣府の令和2年度交通安全功労者表彰を受賞した、可児地区交通安全女性連絡協議会会長の兵藤喜美子さんが、10月1日に市役所を訪れ、受賞の喜びを報告しました。

今渡北小学校の「交通安全レター作戦」や通学路での街頭指導など、交通安全の啓発に尽力されてきた兵藤さんは「活動を始めて40年の節目の年に表彰されて嬉しい。子どもたちには、交通安全を大切にして自分の命も他人の命も守れる人になってほしい」と思いを語りました。



交通安全功労者表彰を受賞した兵藤さん

再挑戦曲でグランプリ!

新型コロナウイルス感染症拡大のため、動画審査で開催された「PIARAピアノコンクール」全国大会でグランプリと静岡県知事賞を受賞した杉本青葉さん(蘇南中1年)が10月9日、市長に喜びの報告をしました。過去に出場した全国大会で賞が取れなかった難曲のドビュッシー「アナカプリの丘」を演奏した杉本さんは「全力を出しきれた。リベンジを果たせてうれしい」と話しました。



受賞を報告した杉本さん



協定書を手にする高木さんと市長

段ボール製品で安心な避難所を

10月14日、協和ダンボール株式会社(恵那市)と「災害時における支援協力に関する協定書」を締結しました。この協定により、災害時に段ボール製のベッドやパーテーションが市に供給され、避難所でのプライバシーの確保や感染症対策などに利用されます。

高木良直社長は「今後も被災された方に安心して使ってもらえる製品開発に努めたい」と話し、市長は「支援してもらえるのは心強い。さらに安心できる体制を構築していく」と話しました。

自転車でも訪れやすく

10月18日、自転車に乗りながら地域の見守り活動などを行う愛好家団体 可児市バイシクルガーディアンズから、サイクルラック2基を寄贈いただきました。

同団体代表の佐藤一也さんは「生まれ育った故郷の観光に貢献したかった。明智城跡をはじめ市内観光地に足を運ぶきっかけになれば嬉しい」と思いを語りました。

このサイクルラックは明智城跡(北側麓)と観光交流館にそれぞれ設置しています。



サイクルラックを寄贈した可児市バイシクルガーディアンズの皆さん